

学生番号： 1300041

氏名：松下稜

電子媒体

	パソコン	タブレット	スマホ
要約文	どっしり構えて重い作業	大画面で軽作業	手軽に外でもデータ通信
購入方法	店頭で購入	店頭で購入	店頭で購入
メリット	重たい作業ができる 印象が悪くない	大画面なのに手軽 ペンを用いて作業できる	小型で持ち運びしやすい 外でもデータを使える 通話機能あり
デメリット	高価格 Wi-Fi 必須 持ち運びに不便	少し高価格	画面が小さい 重い作業ができない

現代人が扱う電子媒体、情報機器には大きく分けて３つがある。パソコン、タブレット、そしてスマートフォンである。年代によって扱う機器やその特性、性能には大きな隔たりがあるが、それらは使用目的に大きく依存していると思われる。

パソコンに関して言えば、これはただ単に文書作成やさまざまな編集作業など、比較的重たい作業をするときに用いられることが多い。デスクトップとラップトップの間に大きな性能差があるにせよ、他二つの機器に比べて目的ははっきりしている。パソコンを職場や会議中に使用しても違和感がなく、むしろ他二つに比べて遥かに印象が良いと感じる人は少なくないだろう。しかし、その性能ゆえに持ち運びには向かず高価格である。またセルラー機能などのオプションも付かず、その性能を発揮する場面や購入者は限られているのが現状だ。

他方タブレット端末はどうだろうか。専用のペンを用いて絵を描いたり動画を視聴したりと、そのタッチできる大画面という特性を生かして活用されていることが多い。パソコンに比べてタッチ操作で誰でも気軽に作業ができ、いわゆるクリエイティブな作業に向いている。時代と共に価値観も少しずつ変わり、今ではフォーマルな場にも持ち込める風潮が出来上がりつつある。ただ、画面が大きい分やはり価格は高い。メーカーにこだわらなければ選択肢は広がるだろうが、現状は Apple 一強であり、高価格は避けられない。

スマートフォンは上に挙げた二つとは一線を画している。フォーマルな場面にはふさわしくないが、小型で持ち運ぶことが容易であり、元から普及していた携帯電話に代わりさまざまな世代に幅広く普及している。特に若年層には写真撮影や Instagram、LINE などのさまざまなアプリケーション、そして通話機能など多様な用途で親しまれている。月額で料金を支払えば屋外でも自由にデータ通信が可能であることが一番の利点である。しかし、単純作業には不向きでないと言えるものの、その携帯便利性を求めるがあまりの画面の小ささや性能ゆえにいわゆる作業には向いていない。

以上のことから分かるように、これらの三つの端末の購入を検討するときは、その端末の利用特性を十分に考慮して自分のニーズに過不足なく合致したものを選んだ方が良い。